



平成29年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月7日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8127 URL http://www.yamatointr.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 川島 祐二 TEL 03-5493-5629
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第3四半期の連結業績（平成28年9月1日～平成29年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第3四半期	14,877	△11.5	772	26.1	801	31.1	522	—
28年8月期第3四半期	16,819	△0.5	612	27.4	611	8.2	△2,587	—

(注) 包括利益 29年8月期第3四半期 740百万円 (—%) 28年8月期第3四半期 △2,864百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第3四半期	24.88	—
28年8月期第3四半期	△121.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期第3四半期	25,029	17,761	71.0	851.67
28年8月期	24,624	17,443	70.8	819.49

(参考) 自己資本 29年8月期第3四半期 17,761百万円 28年8月期 17,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年8月期	—	6.00	—	—	—
29年8月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年8月期の連結業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	△9.6	340	0.5	370	2.5	140	—	6.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期3Q	21,302,936株	28年8月期	21,302,936株
② 期末自己株式数	29年8月期3Q	448,325株	28年8月期	16,840株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年8月期3Q	21,009,001株	28年8月期3Q	21,302,436株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策を背景に企業収益や雇用・所得環境の改善が見られ、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国の新政権における経済政策の動向、中国をはじめとする新興国経済の減速、英国のEU離脱問題等による海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等、潜在的なリスクもあり、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、こうした環境が消費者の購買心理に与える影響は大きく、依然として厳しい状況となっております。

このような経営環境の中、当社グループでは会社設立70周年を迎え、アパレル・流通業界における市場と環境の変化に対応するため、引き続き「中期構造改革」を推進し、「ハードからソフトへの変革」を実行しています。

販売面については、当社最大の基幹ブランドである「クロコダイル」において、プレミアム エイジ（60～75歳）をターゲットにしたコンテンツの開発やSNS・WEB対応といったソフトへの積極的な投資を行っております。お客様が求める差別化された“新しい価値”を“新しいつながり方”で提供することで、「集客の拡大」と「利益の拡大」を目指しています。

新規事業では、“アクティブ トランスファーウェア”をテーマとした新レーベル「CITERA（シテラ）」が平成28年9月1日にスタートいたしました。これを筆頭に、WEBマーケティングによる独自のECプラットフォームの確立に努めています。また、平成29年4月28日より、新たに商標権を伊藤忠商事株式会社と共同保有した米国発ファッションアウトドアブランド「PENFIELD（ペンフィールド）」の本格展開を開始いたしました。当社が直接運営する事業に加え、国内外のライセンス展開も目指す等、事業シナジーを狙ったソフトの投資により、新たなブランディング型ビジネスを構築してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社では、在庫管理や入出荷業務の精度向上に努め、布帛シャツ及びアウター等の製造を行う上海雅瑪都時装有限公司では、品質の向上と生産ラインの効率運営に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、エーグル及びカジュアル部の事業終了に伴い、売上高が148億7千7百万円（前年同期比11.5%減）と減収になりました。利益面では売上総利益率は47.1%と前年同期比で0.1ポイント低下しましたが、販売費及び一般管理費が62億2千9百万円（前年同期比15.1%減）と改善し、営業利益は7億7千2百万円（前年同期比26.1%増）、経常利益は8億1百万円（前年同期比31.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億2千2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失25億8千7百万円）と大幅な増益になりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業147億2百万円（前年同期比11.7%減）、不動産賃貸事業1億7千5百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は145億3千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億5千万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加4億7千1百万円であります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は104億9千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ4千5百万円減少いたしました。主な要因は、有形固定資産の減少2億7千3百万円、無形固定資産の減少6千8百万円、投資有価証券の増加5億4千3百万円、差入保証金の減少7千1百万円、繰延税金資産の減少1億5千5百万円であります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は65億1千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ9億9千2百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少18億5千6百万円、電子記録債務の発生25億1千万円、1年内返済予定の長期借入金の増加8億5千万円、その他負債の減少3億9千7百万円であります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は7億5千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ9億4百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の減少9億円、退職給付に係る負債の減少6千2百万円であります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は177億6千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億1千7百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加2億6千9百万円、自己株式の取得による自己株式の増加1億6千9百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億2千6百万円であります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.8%から0.2ポイント上昇し、71.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月期の連結業績予想につきましては、平成29年3月24日に公表いたしました内容に変更はございません。(なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,140,312	5,660,747
受取手形及び売掛金	1,838,741	2,309,789
有価証券	—	3,258,956
商品及び製品	2,191,410	2,371,372
仕掛品	62,931	32,591
原材料及び貯蔵品	39,933	70,644
繰延税金資産	231,218	141,309
その他	583,158	692,821
貸倒引当金	△464	△582
流動資産合計	14,087,243	14,537,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,485,978	1,483,831
機械装置及び運搬具(純額)	32,803	33,628
土地	5,458,852	5,179,068
リース資産(純額)	40,041	31,191
その他(純額)	126,503	142,495
有形固定資産合計	7,144,178	6,870,214
無形固定資産		
657,315	657,315	588,654
投資その他の資産		
投資有価証券	2,317,808	2,861,320
差入保証金	153,581	81,720
繰延税金資産	155,129	—
その他	138,607	118,949
貸倒引当金	△29,158	△28,762
投資その他の資産合計	2,735,969	3,033,228
固定資産合計	10,537,463	10,492,097
資産合計	24,624,706	25,029,746

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,601,348	1,744,593
電子記録債務	—	2,510,952
1年内返済予定の長期借入金	117,332	967,332
未払法人税等	13,286	131,837
賞与引当金	99,200	—
返品調整引当金	23,000	27,000
ポイント引当金	47,419	41,555
資産除去債務	131,406	—
その他	1,486,537	1,088,541
流動負債合計	5,519,531	6,511,812
固定負債		
長期借入金	1,307,335	406,836
退職給付に係る負債	109,943	47,218
資産除去債務	51,557	57,156
繰延税金負債	—	26,463
その他	192,597	219,105
固定負債合計	1,661,433	756,779
負債合計	7,180,964	7,268,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	4,988,692	4,988,692
利益剰余金	7,183,170	7,452,758
自己株式	△6,582	△175,990
株主資本合計	17,082,933	17,183,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	247,487	374,146
繰延ヘッジ損益	△62,112	△6,995
為替換算調整勘定	141,019	174,675
退職給付に係る調整累計額	34,414	36,215
その他の包括利益累計額合計	360,808	578,041
純資産合計	17,443,741	17,761,155
負債純資産合計	24,624,706	25,029,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
売上高	16,819,598	14,877,777
売上原価	8,870,073	7,872,114
売上総利益	7,949,525	7,005,663
返品調整引当金戻入額	28,000	23,000
返品調整引当金繰入額	31,000	27,000
差引売上総利益	7,946,525	7,001,663
販売費及び一般管理費	7,333,843	6,229,071
営業利益	612,682	772,591
営業外収益		
受取利息	9,350	7,806
受取配当金	19,660	18,226
為替差益	—	7,214
その他	33,382	26,972
営業外収益合計	62,393	60,220
営業外費用		
支払利息	15,336	15,419
賃借契約解約損	26,541	13,763
為替差損	7,447	—
貸倒引当金繰入額	9,311	—
その他	4,971	1,933
営業外費用合計	63,607	31,115
経常利益	611,467	801,695
特別利益		
投資有価証券売却益	34,742	—
ライセンス契約終了益	—	325,471
資産除去債務戻入益	—	38,880
特別利益合計	34,742	364,352
特別損失		
固定資産除却損	5,214	47,276
投資有価証券売却損	1,583	—
減損損失	3,201,493	226,778
特別退職金	—	83,467
特別損失合計	3,208,292	357,523
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△2,562,082	808,524
法人税、住民税及び事業税	179,761	95,101
法人税等調整額	△154,381	190,618
法人税等合計	25,380	285,719
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,587,462	522,804
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,587,462	522,804

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,587,462	522,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175,296	126,658
繰延ヘッジ損益	△11,932	55,117
為替換算調整勘定	△90,966	33,656
退職給付に係る調整額	1,010	1,800
その他の包括利益合計	△277,185	217,232
四半期包括利益	△2,864,647	740,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,864,647	740,037
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,646,004	173,594	16,819,598	—	16,819,598
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,646,004	173,594	16,819,598	—	16,819,598
セグメント利益	1,111,032	56,966	1,167,999	△555,317	612,682

(注)1. セグメント利益の調整額△555,317千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「繊維製品製造販売業」セグメントにおいて1,860,760千円、「不動産賃貸事業」セグメントにおいて1,340,732千円、それぞれ固定資産の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,702,440	175,337	14,877,777	—	14,877,777
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,702,440	175,337	14,877,777	—	14,877,777
セグメント利益	1,240,953	54,533	1,295,486	△522,894	772,591

(注)1. セグメント利益の調整額△522,894千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「繊維製品製造販売業」セグメントにおいて、226,778千円の固定資産の減損損失を計上しております。